

長野にてアートな旅を 上田・松本・安曇野の美術館をめぐる 2日間

1泊2日



安曇野ちひろ美術館

上田市立美術館

「サントミュージゼ」の愛称で呼ばれる、文化複合施設内に建てられた上田市立美術館は、芸術とふれあい人々が交流する場として平成26年に開館しました。施設の1階には市民アトリエやギャラリー、子どもアトリエ、2階には企画展や常設展を扱う展示室が配置され、老若男女問わず芸術を楽しむ場所として整備されています。また、企画展は地方の市立美術館ならではのユニークな企画展が毎度開催されており、その時期ならではの展示が楽しめる美術館となっています。



上田市立美術館/イメージ

無言館

上田市内のはずれに位置する無言館は、太平洋戦争で亡くなった画学生の方々の作品を展示している慰霊美術館です。芸術家を目指していたものの先の戦争によってそれが叶わなかった方々の作品を、館長の窪島誠一郎氏が直接遺族の方々に掛け合って集めて作り上げられた施設となります。



無言館/イメージ

安曇野ちひろ美術館

安曇野ちひろ美術館は、絵本画家・いわさきちひろさんのちひろ美術館・東京の開館20周年を記念して開館しました。美術館のある松川村は戦後ちひろさんの両親が開拓農民として暮らした土地で、彼女は折りにふれてこの

地を訪れ、多くのスケッチも残しています。館内ではちひろさんの作品はもちろん、世界の絵本作家の作品や絵本の歴史を知ることができる展示もご鑑賞いただくことができます。「世界中のこどもみんなに平和としあわせを」というちひろさんの言葉が体現された優しさ溢れる場所で心やすらぐひとときをお過ごしください。

松本市美術館

松本出身の芸術家・草間彌生氏をはじめ、書家・上條信山氏、画家・田村一男氏など地元ゆかりの芸術家の作品を収蔵・展示している美術館です。館内では、上記の作家たちの作品を展開される企画展も行われており、どちらもこの美術館また、美術館の外観はおなじみ草間氏の赤い水玉に蝶や動物が描かれたユニークかつ可愛いものとなっており、建物に入る前から楽しさを感じられる場所となっています。



松本市美術館/イメージ

ホテル ブエナビスタ

北アルプスの稜線をイメージした外観と松本の自然をイメージしたインテリアを持つシティホテルにてゆっくりとおくつろぎください。



客室/イメージ

旅行期間	2026年9月28日(月)～9月29日(火)		
旅行代金	2名様1室利用(お一人様) 91,000円 ※1名様1室 追加代金4,000円(1泊)	募集人員	18名様 (最少催行人員12名様)
宿泊ホテル	ホテルブエナビスタ(洋室/ツインまたはセミダブル)		

1	東京駅(9:32～9:44) ← 北陸新幹線/普通車指定席 → 上田駅(10:51～11:21) → ◎川魚のご昼食 → ●上田市立美術館(上田市にある文化複合施設にある美術館。企画展が充実しています) → ●無言館(太平洋戦争で亡くなった画学生らの作品を展示している慰霊美術館) → ホテル(18:00頃) 食事:朝×昼○夕○
2	ホテル(9:00) → ●松本市美術館(草間彌生氏の黄色いいかぼちゃのオブジェで有名な美術館) → ◎松本にてうなぎのご昼食 → ●安曇野ちひろ美術館(絵本作家いわさきちひろの作品を展示している美術館) → 松本駅(16:30～18:40) ← (特急あずさ) ← 新宿駅(19:08～21:17) 食事:朝○昼○夕×

■添乗員/同行します ■食事/朝食1回、昼食2回、夕食1回
■交通機関/ JR(北陸新幹線・特急あずさ)、大型または中型または小型貸切観光バス(アルピコ交通等) ■集合場所/東京駅新幹線ホーム
■ご案内/※天候・道路状況により観光順序を入れ替える場合がございます。※交通時間は、予定時間となります。ダイヤ改正などで時間が変更になる場合もございます。 ※1名でご参加ご希望の方はリクエスト予約かつセミダブルルームのご利用となります。予めご了承ください。
※1日目昼食は座敷での食事となり椅子席はありません。